

- 問1 都道府県別の統計において、成田国際空港を擁することで国際旅客定期便数が1,300便を超え、全国でも突出して多いという特色を持つ都道府県はどこですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 神奈川県                      2. 千葉県                      3. 東京都                      4. 大阪府
- 問2 白川村のような日本の観光地において、世界遺産への登録という要因以外で、観光客を大幅に増加させる社会基盤の整備として、共通して見られるものはどれですか。白川村では2008年の高速道路全線開通や、2015年の北陸新幹線延伸がこれに該当します。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 伝統的な景観を維持するための大規模な工業団地の造成                      2. 農村の生活を支えるための農業用ダムや用水路の建設                      3. 高速道路や新幹線に代表される広域的な交通網の整備                      4. 情報通信技術を普及させるための全域的な光ファイバー網の敷設
- 問3 モンゴル、ポリビア、日本の3か国における輸出額の品目別割合を比較したとき、各国の産業構造の特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. モンゴルは石炭や銅鉱、ポリビアは天然ガスといった鉱産資源が輸出の主軸であり、日本は自動車などの工業製品の割合が高い。                      2. 3か国とも共通してサービス貿易の割合が最も高く、工業製品や鉱産資源の輸出額は極めて限定的である。                      3. モンゴルは機械類、ポリビアは自動車といった工業製品が輸出の主軸であり、日本は天然ガスなどのエネルギー資源の割合が高い。                      4. モンゴルとポリビアは小麦や大豆などの農産物が輸出の主軸であり、日本は石炭や銅鉱といった鉱産資源の割合が高い。
- 問4 1980年代後半以降の日本では、円高の影響などによって国内の企業が工場などの生産拠点を海外へ移転させる動きが加速しました。これにより、国内の製造業が衰退し、雇用機会が失われたり技術力が低下したりする問題が発生していますが、このような現象を何と呼びますか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 経済のサービス化                      2. 貿易の自由化                      3. 産業の空洞化                      4. 食料自給率の低下
- 問5 再生可能エネルギーのうち、トウモロコシやサトウキビといった植物、または家畜の排せつ物や木くずなどの生物資源を原料として得られるエネルギーを何といいますか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 地熱エネルギー                      2. クリーンエネルギー                      3. シェールガス                      4. バイオマス
- 問6 2005年の統計において、地方のA町では65歳以上の人口（老年人口）の割合が37.9%に達していました。これは当時の全国平均（20.2%）や東京都（18.1%）の約2倍にあたる数値です。このような人口構成を持つ地域で見られる現象の説明として、正しいものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 出生率が都市部よりも大幅に向上したため、子供の数が増えて全世代のバランスが取れている。                      2. 都市部から現役世代の労働者が大量に移住してきたため、生産年齢人口が増えている。                      3. 高度経済成長期のような工業化が急速に進展しており、全国平均よりも高齢化率が低下している。                      4. 若年層が就職などで都市部へ流出した結果、相対的に高齢者の比率が上昇している。
- 問7 日本の農業が抱える課題と、それに対する「日本産米の輸出促進」という取り組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 日本産米は海外の米に比べて価格が非常に安いので、低価格を武器に発展途上国への輸出を急拡大させている。                      2. 国内での米の消費量が減少する中、海外での高い評価を背景に新たな販路を広げ、農業の継続を図ろうとしている。                      3. 国内の食料自給率を向上させるために、日本産米の輸出を抑制し、すべて国内での消費に回す政策をとっている。                      4. 国内での米の消費量が回復傾向にあるため、さらなる増産を目指して海外への輸出を一時的に停止している。
- 問8 関東地方から東海、瀬戸内海沿岸を経て九州地方北部にかけて、日本の工業生産が集中している帯状の地域のことを何と呼びますか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 中京工業地帯                      2. 太平洋ベルト                      3. 京浜工業地帯                      4. 瀬戸内工業地域
- 問9 日本の鉄鋼業において、大規模な製鉄所が太平洋沿岸や瀬戸内海沿いなどの臨海部に集中して立地している理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 国内の山間部で採掘された鉄鉱石を、川を利用して効率よく運び出すための集積地が沿岸部だったから                      2. 製品である鉄鋼の主な消費先が海外市場であるため、輸出専用の飛行場を建設しやすい平坦な埋立地が必要だったから                      3. 鉄鉱石や石炭などの原料の大部分を海外からの輸入に頼っており、大型船による荷揚げに便利な場所が有利だから                      4. 製鉄には大量の電力が必要となるため、水力発電所が建設しやすい急峻な地形に近い沿岸部が選ばれたから
- 問10 千葉県に位置し、2015年の統計において輸出入額の合計が約21.5兆円に達し、東京港（約17.6兆円）や横浜港（約12.1兆円）といった主要な海港を抑えて、日本国内のすべての貿易港の中で輸出入額が最も大きい施設を次の中から選択してください。 (2017年 富山県公立入試 類似)
1. 名古屋港                      2. 関西国際空港                      3. 神戸港                      4. 成田国際空港
- 問11 日本の工業製品であるIC（集積回路）の輸送方法について述べた文として、その理由と背景が最も適切に説明されているものを選択してください。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
1. 全国に広がる高速道路網を利用し、戸別配送が可能な自動車輸送が主力となっている。                      2. 製品が軽くて高価であり、輸送時間を短縮する利点が大きいため、航空輸送が利用される。                      3. かつては鉄道輸送が主流であったが、排気ガスによる公害を防ぐために航空輸送へ転換された。                      4. 製品が重く大量の輸送が必要のため、一度に多くの荷物を運べる船舶輸送が利用される。
- 問12 2011年の東日本大震災をきっかけとした日本の発電構成の変化と、その背景にある課題について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーの普及が進んだ結果、2016年には火力発電と原子力発電の両方の割合が2010年より低下した。                      2. 原子力発電の割合が大幅に低下した不足分を火力発電で補ったため、燃料の輸入費用が増大し、温室効果ガスの排出量増加も課題となった。                      3. 二酸化炭素の排出を抑えるため、震災後は原子力発電に代わって水力発電が日本の全発電量の8割以上を占める主要な供給源となった。                      4. エネルギーの節約意識が高まったため、総発電電力量が減り、原子力発電の減少分を増設した水力発電所のみで完全に賄うことができた。
- 問13 現代の日本の産業構造における就業人口比率の状況を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 第一次産業から第三次産業までの各部門の就業人口比率はほぼ等しい                      2. サービス業や小売業、情報通信業などを含む第三次産業の就業人口比率が最も高い                      3. 製造業や建設業を中心とした第二次産業の就業人口比率が最も高い                      4. 農林水産業を中心とした第一次産業の就業人口比率が最も高い